

農林大学校

耕土耕心だより

今、農林大学校では

1. 1年生が寮生活開始

養成部 80名の学生が4月6日から寮生活を開始しました。最初は戸惑いも見られましたが、現在では寮での集団生活にも慣れ、放課後などに楽しそうに生活する姿が見られるようになりました。

2. 第1回防災訓練実施

4月19日に第1回の防災訓練を行いました。今回は男子学生寮からの出火を想定し、避難場所への避難の他、自衛消防隊班別編成確認、救助袋を使った脱出訓練、消火栓からの放水訓練と予定されていた内容をすべて実施しました。

集団生活の場である学生寮の出火を想定した訓練ということで学生は一つ一つの訓練活動に真剣に取り組み、防災意識の高揚と避難方法等を再確認しました。



救助袋を使った脱出訓練



放水訓練

農林大学校の取組み

1. 平成19年度の入学式が行われました

4月10日、平成19年度の入学式が行われ、農林業の担い手を目指して養成部80名（男性63名、女性17名）、研究部24名（男性21名、女性3名）合計104名の新入生が新たな学生生活のスタートを切りました。

入学生1人1人が呼名され堀校長が入学を許可しました。堀校長は式辞の中で「社会から求められ活躍する人材になってほしい」と期待を述べ、石川県知事は「日本の農産物が世界で注目されている。しっかりとした技術と経営力を持ち、日本だけでなく世界をも視野に入れた農林業の担い手として頑張ってもらいたい」と激励しました。新入生を代表して園田弥生さん（園芸学科花きコース）が「農林業の専門知識、技術の習得に励むとともに、社会性を身に付けることで有意義な学校生活を送ることを誓います」と力強く宣誓しました。



入学式の様子



新入生代表による宣誓

2. 海外農業事情講演会「アマゾンに夢を託して」が開催されました

4月20日(金) 農林大学校視聴覚ホールにおいて、アマゾニア森林保護協会会長の長坂 優(ながさか まさる)氏をお招きして海外農業事情講演会を開催しました。この講演会は海外の農業事情について目を向ける機会を設けることにより、国際的な視野を持つ人材の育成を図ることを目的にしています。

講演では、実力社会であるブラジルにロマンを感じ、アマゾンに開拓者として単身で移住した長坂氏が多くの苦労のうえ農業開拓をした体験を熱く語っていただきました。その体験から人間ひとりでは生きていけないことや本当に大切なことは目に見えないということに気づかれたと伺いました。

また、アマゾンでは、地下資源の採掘や木材の輸出等の開発により熱帯雨林が減少し、環境破壊が進んでいることを危惧し、自然林をこれ以上切らない、砂漠化が始まったところに植林する、紙・木・パルプの製品を無駄なく使うことなどにより自然保護を行う必要があることも話されました。

今の日本では考えられないような体験に基づく話は興味深く、何事にも挑戦していけば海外で活躍できるということを教えていただいた講演でした。



講演会の様子



講演中の長坂 優氏

3. 浜名湖フラワーフェスティバル2007 集いのガーデンコンテストに出品しました。

4月27日～29日に開催された浜名湖フラワーフェスタの「集いのガーデンコンテスト パレットガーデン」部門に今年も出品しました。製作は、養成部園芸学科花きコース2年生が行ないました。

作品はフォークリフトで用いるパレットを土台にした木枠を使った5.5㎡の花壇です。「笑顔の小径」と名付けた作品は、森と湖をイメージしたもので、木や草花のバランスに気を使いました。

学生たちはこの製作を通して、多くの植物の取り扱いと活かし方、花壇作りの難しさなどを学ぶことができました。



出品作品の作業風景



森と湖をイメージした作品「笑顔の小道」

5月の主な行事予定

日	行事(内容)	担当部・課
9日(水)	畜産2年生機械応用研修(大型乗用トラクター)開始(3日間)	教務課
15日(火)	園芸2年生機械基本研修(大型乗用トラクター)開始(7日間)	教務課
16日(水)	農林大学校富丘会総会(保護者全体会) 田植え実習 養成部1年生が農業技術研究所三ヶ野ほ場で田植え実習を行う。	学生課 教務課
24日(木)～ 7月20日(金)	第2回先進経営研修 茶業、果樹、畜産学科の学生が、2か月間宿泊を基本として県内の先進経営体で実践技術、経営について学ぶ。24日は農林事務所で受入式を行う。	教務課
25日(金)	校内球技大会	学生課
30日(火)	大学校説明会 高校進路担当の先生方に農林大学校の説明会を行う。 農林大学校同窓会総会	学生課